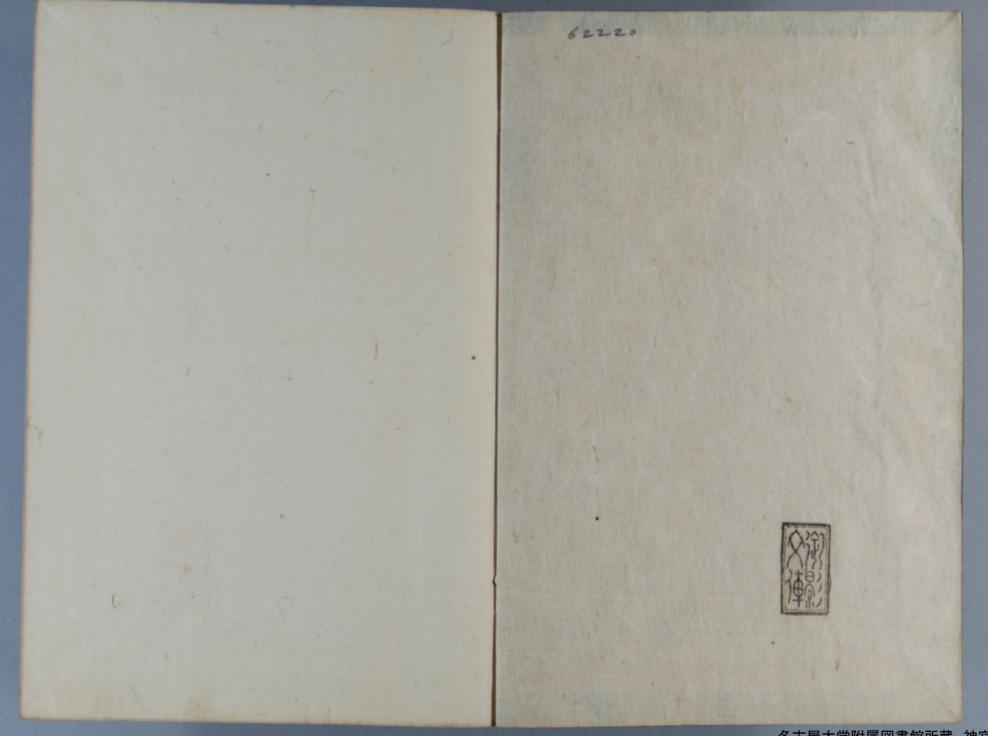
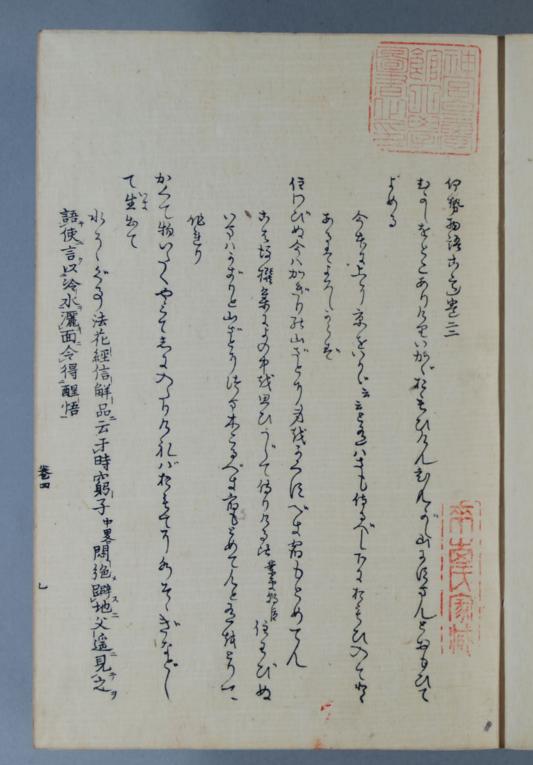


名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫 「伊勢物語古意」四 10062220 1/34



名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫 「伊勢物語古意」四 10062220 2/34







うるを

ちははっていまける

W

海系

は 8

此多 あるう ありり風 0 であるる さそろうな 30 くてあ るなるのな はきろう を招きるはずろう 8) ものつのけるある カ 李三素於小 そうて は天内 此タる 少糖 11 んととうし U よいのつ あれとそり からまて 死 回答とうる ろるあい ゆきうをあるい 3 E1. るろうい ひとるれ めめ 33 えめ ひのち 云门 3 13 了福 南 そう 0 83 おかり さてた 分 0 分 いつ 0 カラ 仔 カラ 多 0 13 好 いる じる m カト

今年るのまめち ちゃろうちょう い茶数のきる 多多 专 カン そいなる ならでるみん 0 今教 そろとろろりる るのちの んりとろ つある 27 生ちてぞる 二十 カウ 都是 おもいち 60 んろら m' 死 吗 よろうできるいっと いるまとす ある 5 んろう 11, くのよう カウ קע ちる するの もかり るつろく け、 位のあ るのとちゃ

ちょうるき

多家

49

四

他

多

震

あろ

n

权

するのからとろ さていることら はとはるが 47 8 いるれまでうるという からん 0 33 福 のぬかでれなきいるよう er-11 んけってあるち 国の 本は 徳りか記る多は豆の H 多说 そしま そら 级保格之福物目 9 かあるい でけってるいるのもあるとあるす 勢包或い きい 物をからいる るるるを世男の 0) 文场教 への高いるとか はるよ 教务之子 教台で 福寺 福名多子之去上 4 43% ちちゃ 楼 橋易谷 のは

2 いちょう 九多で一四月の 化きるもの おっち なるいいろうちちょ まっとかけ 多名と各同 福 0 110 あってるでぬのます も of 3526 0 ききる 0 油 0 考 なの 初生

ימל

似 かてってれてからまちか そろのまから かるは 八多九 なか ちょ 油かっ とかてたるから 人乃神の多了 何うそ つけて福の書 んらってなり けてあれる 13 な とある にとるた おる 81 場の んい ちのあろうとな 多くてう 内会う

大きないとうくっとは他れーハシーハシーハシーハラーンをはないますのといかしている人のといかしている人のとからないとうくないとう ちれてみのなのあ 較えとす そをとち るを あいる H 0 名にそろ 多場の うそろの考りちり きんろうつつか 25 るい 2000 の西する のうち 子生で路 きて この多いすって 33 といて 500 えて かるり 5 0 多了 老 とちゃ 少多 わける かくろ をわ あいろ 五七 ろう 七古人名 ならつとうなる 11 373 3 为 73 2 よるい 、物ある 第一次 公本工場 りるとやって 元 3 と中 ているの うちょうしゃ るでは 239 ノモ よろありる るで かった

れい

られん の多ろ 多は化きるからべ 39 やけるいいなっち いあす しは寝る のとはあらいうう みらかるみ いたの たちれまる3 4 しまらる 1 去

かくるかはそろれとうともないましているのはいまれているのはそろれ \$ ながあり

多多 名 五) きるちてかある うたくろせて してをはちのう るのあっかろう とついまずること かいあってぞれ 湯 かえるる れてつう くきるときる流 17 9 しとなるとろい 11 9 名をあり のいきなとうとい 多によつら 200 0 到多 さるは線 253 のろろろめ 波の んろみ 谐 3 40 dt と出る らいら

それとうとういろかってきていることできたのとうしてもあめてかってきているのま さいかけること せる ちあり 南 かないち て枝の 多むす 73 は今年 枝の言いきつう ) 10 of ? といいつ 想到 多 3 极 コン あるなると 0 3 もいつまる 13 7369 73 n 3 6 35 せ. 死 3 まくのうるい 伤の ちとろうあの かんともう 45 被 及 こあ そあそ 秀色了 0 3 334 カ 福 という もきずと 0 多好 元 んのこ 30 13

るいいとうていくいんとなっていること そけずなって ときなり 孩 うろうろそ 多年な あってくけき すりを 他の くまでい 考み男子 多多 、ちる 传 395 0 時の 级 男马 多 あき ちてるろ 女人 5 8 めれ 好 57 6 五 5 みき あるころ ある B 13 3 4772 4 一切 卒 南 b 77 杨 83 9 4 3

ころの うけっつつきい 出る 40 4 いあつあ 水 かきなりず 13 6 その 此ある あ二 さもな うれとろ んろてあるる 11 何てうまっちゃ B 致めて 13 できるい de 也乃 全 >10 うり まちい 43 ちつをめられて 男 いるときち ゆし とする んろて 見るれど んなる 改名 もろう 古年 3 を 2000 きめ えなりいつ 上科 こさ 女八 3 他家 から 多の 20 9. のならちろ 15 であるた 多 10 3

夷 4 方 ~にきなるとあの女いたるな # きてうかけてきどえらて

0

いま

世芸 趣? 女

ないなっているかんか は父母をおりくうわりなどとすると、大父大切のもころれていからかとしても相叔父母をいろうかとすると きょう 0 かろろうろ 在後女のうろあく考いを 九八百 姫女をあるあるれるなるろうろう 始今 力るか チュ 多して世の中 男子 かか 为其 はを世 てるまでせん 239 面 とうろとあるす 好老ら 老女の ちまて多位 功 うっとう 略 なるとろいつい すて 3 世 200 をんなとる 1

さんからりきんあ きれるからの一き ニノ てそでち うれるする あゆちきら おき おすをきるう はくちら 九男き いちる 43 约 马龙 中傷きる 器 かろうき 之 生かで 9 一多のほう 3点 うるして

3

んなと

きんない

をわっ

いかかれ

めるいうきけなく

3

くて

P

3

三ろか

から

そのうとう人を小めるからなってくろんを小める ちなくてなくつらん ゆい谷やなるできるとう かくまってきてのかってきての といろ 大なす 多 ある 男をい 30 いるですりまるではってきいろ por ろかろ 女公中 とりと 游 ちゃん 今い 5 10 あるろ 33 乃五 あ 2 な 47 35 (3) いあ 〇ちるみ かられあるきられ きっていちいちゅう いうで ら後動きてい けなる 6 37 あらい 松平二多五十五 33 く当ちょうで ろていきてきるう うぞそろてうの男み 中 力 好女 0 图 23 記出るとる 为 もあっ 多いてはって あ H 000 53 筝 なって 级 33 てみると

そのあるというろんれ 500 ちとてき 05 まくろあらは 50 にきる 人風 ちとときちろうろ They あるえる ~きろうめつくで りかく思いるる 11 九十れの うきいちり たっち れいをんちゃくとのあろうろう あるきでか しほけんろう 40 好るのかってつる きなる 传 多 150 かる かりろけ ゆるし ろろう就 0 回 43 五六 ナ?

しるい場

中ろうくろ

\*

れるちきてき

ちるろろろ 女のころでき 好者 しまっれいち しるを男にの おか

七

る婚れる

名名が

水落的江南考奏文五七一名

5337

りる

れさるをはて

53

体

のほく

あう

とうのと

すそ

ちて

ちいてをしてるる きてのかのつうとのは少男ろうて出るいちなどらい からくざてあてと きからしゃつか もってあるまてうろうち 转 なっておうち UT るをえて קם

するいかをからしまっけるのできるからいのできるからいるからのからのないまでからいまっているのできるかま ろのをきこうれかのせ おのあるめて女の るいをはくれるしきしるう んおういかのろうろ 偶名 うろらつ 多 いから

かうちなってからて あるときんをある 長席被席などろうてもうを挟き遊をうとかくる あら 五言 きる 赤いであのう りの独立り あってるち ろい 芝生

をきむなものをそろのろちめるちめんな れるつきて男い はい狭くそうなくてる語のの れるとうきい れとろいてる ちょうちのをは おるろうろうちせのか いかあるまくれられると してんくっ

いまってもちきちろやちけんのなちゃくそち田多崎であり られぞろいき うくすうう鬼四人のうとみかをうすて んろうかる

の吸えとけるとはおうちまれとけらのけちゃといくる ひるわら

ちめならているうとといろありか同とうるいはるもろう まのなちとるいの風かくのこうきはいうれてなっているりのようとういの風かくのこうきいうれてなっているりの

ちいほてくらべし

いっとなりなんろや なくとありな りからそうに Se Se

> 名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫 「伊勢物語古意」 四 10062220 10/34

上のは、朝のるる

なるるとか

いら後あしる

11

は二つをゆる

なって なる 記めえかから

智家

高

21

1 UT

九

からからかんといういか そうとううなぞう 为西南八品成八君, 13 残 いかろ かって あい男で ゆるし 传与 そといいってろ かかっ さる の我になるかを内 そそとなるをあるすあらてなら いのいる 多い母う やつている かい りならきってるるろう かって 五女 いをす かららん fs 古 2 楼 きみらな 3 5 136 る海 というる るあろ のあ ちの ちるか 福 ンスハ 支 うる多 怯 旋 一方 うるんろうか ス哥 4 00 也

羽 てからきゃって かくは ろろろすす るろきつち い見もえろうろし な かなるのうと れるでるか 少う 俊 3 にてかりてき らっちゅう

くみとかりとかつてういろうとうからこうとものこういろうにちっとものこういろ そろうきくだちる んきてれってうちいろいて とうろう 村から 多種順用をういろう きのうさ ろうとう 03000 れて男子と近我式了 す 12°1 でいけられの多ろう いつついまとうかってつ なるるい 禁るそくはると欲物と二 又回式 弹正 九湖林、名志 そろろう 付唐 唤先右京战之之 有名 4 m るはる

からくうをおくる えっとはんうかて かついるか 羽のかる ちきも を を将 え らまするるるかれ 3 けてとうてる 山 大次 35 女の 多ちの 一つきいは f 鬼雨 为 かけい えのなるなら かきて 1 ちのろう 此 れらねをす るろう ちるるる 1825 25 てるああ 11 33 多い 130 カク 鸣 4 ている彼のほ 务 かのろゆ 53男 かくるせろろいい 力 けきいかのあるできるてい からかり なのまる をはきいいろうちです 0 い考まれらき インマタラス~ うそんち 母后明するて うるさてらか 友住ちる品 れてするる 的く猪和の 23 配うてもり 九多八 そろれらの \$ てうら くろうかをう話 路 か 物湯 あろう のか

いるのの るち ちるないいち ろいろのかろびんいち あるるち からきい 一るとせり うわちているからうるある うつろきいかくち となきいそか 七女 上次 何のる へきいきいの おそろ 730 なるあ Es >1. やとまっ もかって 物をろ Ut から 方書司 多 ある ももちろ ハラモ かちちれ 21 饱智 八五 のち のあるの 今やいろ かるるそ ナラブ 沙里 あると 73 んきる

0

多男四

無意

そけるを此

かかきら

たの

女なれるさいろありるき

は後ろるの

切める

うてるいと人

よは落をの動目のえるとよいなあつう

3

殿女嬬

六人こいろ

教いろう

微

曹沐燈油薪炭之吏,典殿之人

はるろくないともれるうのとことりては後言の供奉のうのとるとりて

男と女とあて 十人直丁二人監使丁ハナ人ながろろろ 同尚 員令云尚殿一人掌供奉

東衙子其南女房龍八東衙子其南女房龍八 居とくうろがくてあらうちんしてうりまかけるのはなれてはまっちんしているいはないま てついよりてすてきて つくちんを是何 るいをり下のなるいるいるとからくろうないるとからくろ るって 古年 海 かい 3 にま Ut はくつきいき およきち 女 五 ちてみ きなののスクくろうちて見る あり うててるほうちもつろいわる とせんや 行ちのとするといるか さいいてきてちのうとう 人のえんるをもちらで曹司 75 れなどい男のとりをくろう してもきいな 付すらろろになり のちきいな かときいてるそわろ んろう んめ h さえを或り 转多多 ふろれる 男な 今 ちろ 739 とかのろう 0 20 抽品 かてそのもり of さつせつ らか 之らま 女 曹 行き 何多多 九里之 司之

きを

そろ

ずする ちります 0 3 る上のちる 0 いておする 0000 ないかってきる意 四萬 ふうてまる

炭燎等事 掌供御輿攀蓋笠繼扇帷帳湯沐洒掃殿庭及燈燭 そったとうでもってなるころで 奥のうとなろうとの最いかめの上でぬってまれるとろうて きいろうるのておなるち 多 或いうちちおうできる 助一人九一人大属一人少属一人殿部四十人使部二 あるるる れられるをもろくできるとからとす ちいろり 吃多好を多板 かかるち 10主殿寮八職員令 れくつうをあい ○ あるころ殿司後官戦 てるときつ を的情 云頭 13 - Jacob

ほろう לם やえて 30 阪事のるうともあるといるうとういいかのろいけちますとうろけ又日中行更なになるをあるいるあるいとのあるいろうろうろくとく からのる 3 ちんとい 自己多 9 かって かかううくといのきともえてもあられいれてきる かろ なれずすりいたよの下そろいそのある男のも 、神から せんそすかあるるべきし くうと 5 あいわうろろ 5 ふき今 あろく けるさか ちれきなら 6 はをきこいつ 凼 730 多せいでうふるり とうやは いから なりす 哲型が ろかう 如 男のあるから ていっているのる かも のそろれる ちんろん なろ りるち

かんちょうち そろなるろう 後て鮮ないかうとうとくをひいつきる神巫ハネーまつるいえようとて展待ちぐをする うべるるとれるどろういち お人像などうちゃ ○被之具大中小のなくらてものうとうちろろくるいる教 ろけそ おもちろ きっとてある くるつちゃん んそく二つを都 きるの そんなきいうきる けるいれのりってうろくちろ 教きろてあ 63 つけろの くそうついー うろううち なる 五 鹿多多 とある 32 か 多

N

ちもことにまるると

つあかろう

039

4

らいるる

勝異殊ずのるる

してり 多せ けらくのとうかってつけて とうちはうちの今まろと とみろん しらるち くろそきれ きなんきるちょう 打型 このちちきい神 けをも まを神 なりる 4 けるろうか 33 4

「写会条方次上南

殿格子

福部女婦供奉酒事殿上主殿仕女供奉、くろれ八酒帯ハう

女婦

人かきる社女らるも後くいあれど

るあどのできてるかつうと

ちょうかいのりてきをもみいいのりてきをもみいいのりてきるとうないまってかる するいり ものそあまつち いたなる そて多を終い むとろうをなりつけるてるあとう まろり 時も かちもきべしのそろ 野の るをいいる後後 73 孩 つてうに つからうける ハラうにかるなる 11 为鹏 利 めら かろう

とり のりひく いろな 43

移ない?

13

27

够

そのとこつのそどうれだろのる回

うちのなるはいなるをきる時をきてあいるけれるいののななないとはこつののななないないはあるのをであるうてあ

4 ひせい 2 みでは時 いきてもってって いかのそとはあのけきちあう 7 てつるよろりか うろうう いきとかっとうかとうろしゃ 与老ろ ノマス てけら すりつめるをつろ まけらべ (+ するせつ 内名を

そうないまかせってあれれるするとは、 不明泊 後也物使半行 そうしかいまましてる 雅之娱赤,当明意とるとそくちりのす 協嚴如神性寬明仁怒温和慈順好讀書傳一潜思釈教 在馬大之遊 あてからう はれちとくだっているう三代實銀三天皇 とうてなる くきもつとうくるせるいってその被けいまくつう とはなるろ なのう ちめる いってそうな むりぬく から くといる世の男を云りるの 人るよける D んコ

け当

あつきてるのかととす ぞろ

ちゃくてきなくさん かをいてきるのとあい 5 3 45 四十二日

主

なのきつちゃうさ

あるかの 0 0 0 公院 わ 21 そのそるを あもい ろろ 03 去 石水 るくろそ 13 包宝 カフ 今 ちくずやう 0 新 おりのう 云号了了 13 图 3 るなるの めてとろうはちある 红 3 えら 刻 すっていてつかりまして 乃 うきやの と公子神 んとあいなっ こうのるをみれらくなる人 あのおなが 京 3 0 女の多 か 一局二万日 つけ 多金であり る こるかけ 言

17

V3 をある記 らってらばいを やるる多い ならの他かと いせる 他 かる るいろ そろと おおうろ き焼うせい 好 传 李

小きいろう

はる

53

为 ちちいのは 好となて物の 6 物場かせて 智子 3 7 ありきいる 130 250 村のる 了多多 あ

11" 西 あら な 36 それる

うちっと けって 多多 るか四 3 そうといでるのうとえ 2 6 くろうそのちの 多のの のけ 公佑中代 声を お中のる

あたのは 2 いた今 つるかれ いろる場 4 的なる お 2 73 るろい 6 当了 ちらず名四数重店る方 なるとれあと 30 13 30. 0 情のはをはてあるよう 扬 五 30 利 分 多像の 好 0 万多 0 物の五

のきからのはゆく うちからろうりのせ ひろうの多い ちのあれのはいる のたちったのるりなったとうなとはわるをのは れるなっていたかっていたかんできるれる れてくられる方ろうという 孝 老 对 3000 は は 10 久後多線 弘 うるのかうきい 他の 仔 そい 榜 かんのろう 度信 北路 此一梅のナア水尾 作てちずは枝 いあけをのはあち 的 て學為后 南 6 为 7 西島佐ち ろら S しきすべてはね 羅 多多 學為學有 827 8 3 多い そちろ 5 如 いるまいにののは かず っきる そろゆめ のかっち そはれの多数四年 73 親六多了多名店 参多~ 320 3 うり けてるかまるもとわ いちゃ けみのからつ まけを 回るなたや ちゃくこ 各猪 といつれと の言ろう ちま人 63 家 あるの このちはん あるはよるかん たとうついる 多子のいろと 配ち 多名の地 如 かのか 13

はつない

名古屋大学附属図書館所蔵 「伊勢物語古意」 10062220 17/34

みけるとうに

ると男の男ろうん

ゆるかろう

うちりから

りとめ

かる

8

はの

ちろれい

是奶

他る

やとろうる

同しかき

そいろ

一方でか

とそうと今年くりつの下

こ人のあ

あ

おいると終の時

ちまてのうていろいち

神宮皇学館文庫

巧母后去條后四 いっとついすべくまでを見りの村のはめれるはま をできるするとすうに ゆきるとちとやにできつ 时のるとれるいまってい その物乃 ムる

ちそやこめりけをはのあり るかろうち のは代きも きるあり文明るり からいち

はふはをみるり

あずといれてるのくまいちつ きておってきる めなどう かな様のとあるまろ れんろそ 0 をする 俊 まるて ふち カラ カ

自 够 きんできる とおうはなるうろうとうならのち 0 浦 を後と にうきやこれがなう くわ

あるうえの教は神 辺べも からう三のは 3700 の信はうてちはうせ しなろう かる 圣子 万里 6 えあくちもち る のきつう

をつるこはのはい 三 0 のはるる あと

くれわ 庙

けるまるで から かると

もか 名は 省 んちつかいろ るけ

人のほ

200

うてのきち 里年 逍遙 De. 计 Feb. きけらず回をそれるようは

本のよけ 3

行者の場

をかり

はいる

ちかきるかん ちら するい 3 ~とうつはなとけそうそ 支紹力 えてる下い -8 次と 3 4 ひる りませべってん 0 んそろろ るみと るとというから ろううできい らゆって 5 い花の ちか おくろうける 面 ちゃら 11 の名 10 分 3 236 6 250 をな かり んちく それ動 あれ 多 け 0 かく P ろう

のはしなっまでいる きの Es 4 か我のほうきいめれるとうは そのあ 0 6 ちそうろにい用の なてち 6 せな צמ 使者の教信者の 品 3 表 63 0 ムス カツ 百 歩つ ゆうてまりれ 世品 とろうてきては んかくろ 33 3, いての いると 2 んろうろう か わ 137 6

> 名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫 「伊勢物語古意」

とうてけるもと

かろのの

3

想人 日枝 古のるきえと えるの 第 うち 33 切时 路 それなとってい 七月 137 3 4 いろく んまるまろれ 多 そまつ 3 とまるもは 3 ちってきいの うていちり かのみ 0 うらうの 40 きてきまかれ 传名八 下我 3 顿 日本 行の 妈 との 50 V3 V2 1/2

うるにう

かそ そいそり るるち 多から 伤 如そかつて ういとかろ 6 一の方名 一多 るのかん にもとて又のあ 0 努の国 2000 やるよ ける時 まく

かの 行めのるうるる をけ 高温はのおび 多い良う 与他的 9 うろれて一度も 0 は 90 break 北 うちから る事 うちのの のえない 17 3

V9

はの

くなるとち

れであまれる

とないがせのするいないたっているとうないというできるほいきる そうなのろ けっまっるちょう そそろと Se Sa やりてなれる田のますり 多時限了情子は我多ってみはのち女性ら h 117 2 47

りきの 传 私の えまく 393 回後は母八紀の名花の女務子之くろ八世久了惨多の一般包犯の多名 知さりきるはみは多様いころを 多紀に年 11 きずらけるまるかうたろともろう 世 そ同と年く何多い 至 ~ 经五位万 七世のうれ下いある一年サム第三七四六倍上了 ~多何多多多 いぞうとにわるらうませてと世のりのやらっている そっとれる 75 子 3/11 れえきてんきる ちるちるちる古 ちはある ナミるをって h 17-

うっち まけのほぞれあるいよ らうえのかろあのけると るい多名の歌のるは さいかは、 かろそとなってもんろう 由生人 おうらう くるするらそいを記 しるって くまっとからしているとろう 放絕方 しから しあるろうとい 多るのとある うります 時のみ院の後と 3 えずるをより切れることさ 4 ろんうろう を對ち りる位 m3 らり 3 1) 3. 行る 和少 33

0 るきてきなる なるとろう 多八份金元 3 かり 6 TH to か 时 いるな 十九

すり

とっとろめ

きてえる

二

今 ちき対機あるある わら 多代公 きてねって かてる 移花ろ 21 トの

んをするというる かり月の 物 4 3 25 3 B 杨

らやとくてそ女の最多

老人数 ちりかて なき 够 人本

いはのか まくる人を公日本好 主神を

るなるなる るに名は使主うちきているらうい るてる るとる Ber ? 一次の好 ちの 半 一对

くきち 9 户 のるとろいう 175 结 13

かのあれるという のをますってきか とかろうち

はの ちろう be 30 アもちでいるようわいる 0 此物の あめるあったてつてる 办 俊八 1300 喜のまう 7 11 七色湯 を 彭

にす

4.

ふめてか 5 かろん そのとみしるかと かきいまちのゆるいまっていまあきの ち五のうかすぞ あえるらくから くろうをちろろろ ¥4 しつまい るので多級を るが好んなど をつうるもの 9 0 2 古代子の 8 名

> 名古屋大学附属図書館所蔵 「伊勢物語古意」 10062220 22/34

特個をかるうう 3 好をなけらのきって るから 女のろうそ とりつか かろ 5 祖弘 そいるであのる なっ 記去 3 いとくなっ 老子出 そめてち 面 まるとき かもちろも 2 くる次 73 内 与い 云山と 103 档

马令 时 3 をまつきい 由 和のかをの 河子艺

をはなるうはいろ

そりの記いなくて

0)

力

P

0

0

多事子 0 句 八上をく 七るかいま 33 0 為のなるの

きゃといとうかうようてする

かき あ のついま んのや それまち いっきいる 公室の わ 136 どけち 3

US

みてやりて

好

はなおとうとき

使っていらま

mg,

つくとうかりってるのはると

8

あめるるころもうりある でするろうちん りもの いろろう るます しないあめ

るるうりけ 色いなっ とありとすて一ち くある 9 地方 国 5 かれいちろ

を説のける あのちれるできるうけ るともつか

3

をかつうちゃうころかりをうなや ぞ尾猪のは なてるれつとくだとう おきべられ うをうきてい 3 ちくろうてるか うりるでてると ちれを 0 あけち A というとうつき もととのの 6 11

から

人のる

りをめきる

人元

そてりて油のめれる とハ人 303 える ちってかるす てはあずるるないちろうろうるためい のかれる 1 縁をいるう ちょう 9 ちきぬかっ 万個八言ろうれどう ろのあ ほのゆうる いではきる 油了 ゆるう そろうろ

そせるてま

3

きてつなの少なる

後れのます

しておのまな

あいるとを本とられ下とい

わっときてと

我でる油の

3

れちを政

そういりひろん

そうかけるのなりまする わるわる せな 少なるい 以多分と もちゅつつ 好をき 到か Garage Stand は四しきて上いきちょうちてあれぞろきんあ ねの VZ そまつ あむぞ うるうちあら うさの後れのそいはか彼る ん風はるかず んちて今八少彩 とつさてなくある と移的を

> 名古屋大学附属図書館所蔵 「伊勢物語古意」 10062220 24/34

いていきいた法のも 南震八馬尾の海 うえらんりといるを被てゆけいうれ とりいないるとのとううからどかつる といないったも なとこれ後と そいけるるのころん けをからするくてあるとちなるいから そとうめてるるる うまってうてとかかなをみとろくろくはあうちてあれてかる ふなりまとろうかん してるとなるる 的名はそるとは の一の皇あとりうく皇子をしてくむのとうはるとと皇女をいろめてくといつうちがあるみ惟られるは しいつろがめ んろういまってりつうそれがす (の内的等へよ例 ける男名感のちる問教を かられてのいまうと 見けゆる 多とすめ

はきのるけるらんいいかある 上内多好回じ孩子を見りまくるとそ何的を又於 男社のてるようう かあるおりこれいるとろうははのうてうからからち へぞなけ ちはのる うりまやかりて

ははもろう 竹大与村の村村あてる 公子 できての方便い些好の神名が 見さいるろううち 一個子の回 的 戈

そうちろ人入内 かはのいありちょうき或によりせをはのろ 小的うという うのろべるるろう

かりらてとあるいつかあら

ないまかくもりいらのでしないまかくまりいらのでし そろめつきおやいりろうなさ うろん しいませ 女うれいらのを痛のむする てきる かられ んな 切 をき

公本 きつろかろう いまするへ そてかのかろ 根子ろ 彼らわってる とれるとう るはるめ 0 のもうちれる るとす くつろあら ぐとを時 St のそのとう に中地との名れわる 妈 うろうちょうい とう 明らち 酒之或沒 くろとり むるるそは क्रिय 太 13 四日 海出 えてき動 0) 50000 0)

をある返 そでろう 3 しもつう 多で 和 るます 排 かてまるい のつるかろろろか の をな あのちろい しあるから 神の気 記まる しならちゆうときのもけよう あぞろ てるゆう 39 神 始 罗 0) ちろくろい るれの 会日的 あるの 0 3 回るあるゆ tp かって 多多

くるるるとめの

内的

いているのう

月日桂根のうちのか

多ままる同

かるい

五五

いそくてないてくろう

め回めるみ

他のできるまるるろ

ててるるるとでれるちていかくるろてろの

それとうて事了る例のわざしの

机のるをほ

世

もはをいっ

いあせをではまのま れるりとあるてのしよううにもういくろうか 七八 のう くて記をいりる なりないれる をうむ みをもろき そろい るとそのとる いいというい りつか

九〇湖自己

考男をけり伊勢の園ありけるめ そろろろろ いろかりみる

ちそられるであるて一般あつる えり見ちゃ

そと女のろろとちゃちくうなっちなある

の化きるうる

3 せって

も女の

かから

もやりいろとな

くりいかのありまるくかららかいまく

陸よ衡 詩 明月八点篇 两人 投いているっちことりる

海 ありれわから

ついれからしていなり も今何あるないあると 2 そろかてこの おきとるある とまるな日から といち ちゃとの てるかし二の句 らお被 はなる ころわいるめるをあるのちく したてちそうるるれら 3 わってるそ 5003 污 4 4 B 〇岁

多 岩多 ありけをはそのでう 21 欲 得 いるおれてるち

ちる んろ 多 むめ 级 0 乃るある 3 好好を 3. かっ 11. 多んと云流 つきのも を残 物を つをめる る地 ふいか くぞやみいるる 西 0 圣结 2 3

W

そうちつううのに ちょうしょう 他やせてごまのうりかけわっていれるをあ 女の分をうけてあいるるのとをあるているう なっちとうはっていっていていていていていていていていていていていていていていていていてい ゆきをえてくううけてきたう でもうかんそん そのほうちいてぬくとって一つるからかかろう してはきするりけせい をそと しまてきるるる つるてやら ちろく 治

男同うりむ 海人の油つきてきるめあるあるをうろり れらいとなるいらしをうての海内い思くまて見るてつ へきなうとち くかすらであらいるを初夕のくうむって のちはのちとみゆくうしま 11. ちかひ ゆそろう

きん子以端八万多子了あ おうきいつきかろ くてつうろうていつりむるを必得くに 的 んきとからからいけっとろ ちいあるをもの中へ もろうるるると物 つのはきち iot るうそういはら いゆうつけいもれ そて线い男のろのかい うてきいいかいろ ろそうくを結て しゃいつ

はうかめれ なともあらないまのとう しそのないか つきちゃんなが くいううりきあらいるろ てきから世の 人のほう てはくちゃきいかをきゆうちのあ 03 いんできるという はるとかそ油 此粉 記者のとろ

六

Se えのとい いとあるるをつてたわるるか

3

んちのとましまいっ せる うろうき かるいきくちょ 猪花 かってるる そろろ 1833 鸿 一時とう流

なっ そうてはうとあまりむころころは事年かりとう 二條の后あるみかる 西西 そてたのちあり うろろ かま () なま

えいいろる ふつうちのあせできるるないはいあといあるの

東宮のシャナスとい本いまっていることではないまっていることではないとうないない からろ をサケ 小院 的以格名文字 ら歌ナーシー

えきならればいいいちゃんか 皇太夫人よのらりょう人きいち日を記れた後のろこれを必られ までのあいっとり 皇子和成太子うるいちいえぞえる中国の日日間十二年二月一日けらかけあのけるなりろう 阿不

一くりなれくはっとおくとなるとうとうとう 治の年 多級うそ方にい くるろんの えんであっち なかい 李玄

関院の九方氏を 到る の母はといくます 下るちのから考い のちるをのみおん 今のまとぬ

はなっているとう さるであるとなべのわと そうとうとうしゃないりあ なくろうりょうちては くちえりられらるる そろとうつつ くろとろう くろんしょうとう 多級の きいちきよからるほうれてけたるっとあっちれ 張ったあえるこれとかきとか てあるかけのち の大原野る はとうてなのはう いて考ららして 村く寿日は多神 しかっち つろうろう 制大京學多一准 杨 VZ しけをろう つるみはま るからい U m

13 きぬつるい 5 むらいかるるる 好 そぞろもりける くる福かすそうけるつらです

そうきえぬあるち ないうううもうこう何 たきは渡りおくる あというならろう 考はれるこれなる ではるうちち うるであって 杨号 るとはけい 今年彼ちよとはほろうろれいは世代 一の月季九を店中 るとうとろかられけのす 内のつ ろりいおもま D そろとも きて以及の俗 ちているみを うつち記かると 小多場 から

179

元

大安二十りを 就六とハ大安二十りを 就六とハ大安二十りを 就二人のとりますてく 皇太 清和即位西后为皇太夫

かられるである ちゃってちろう この 80 小佐马 宮神 ずてもいち そりてきるるがりずりる , 去児な投令 3 禄 しろりは のまるっとわら る後 今をするてのころをいろけるくろ 方はなないろうとて におりにのちょうきち つけてき る対からどいれるといろし かきんとうつ そかろ かんてかるの んてきいろんもうと る神のの る次でるは東 こののろう おけらののき いかてやけつ内すっ していとう 4 73 時息あのはる る間の 5 ぬりてら 新 为 め 17 US

江家次第一大原堅行路、 の場乃 皇右后等馬馬馬大名 そうつ 物のみろく っとてんろ るという そろそきる いんとそ 8 起五條后 うぞう 多けんちくど 野 ちろう 猪 うなくす 21 11 4 V 匈

先見若有密事我多いある病情和祖母る子の内島 ありく向大原聖神社 るあきてはってらそろてあるられる婦を記三日うり 車副二條后高子以好東車後在中将書和歌與二條后人製 そろそろ病の行る 3 いきが初めて後を待下 とろろうはのちはいてと 以藤氏六位以下为車後者 順子以為縣氏勘季院聚 多で多場る あき車後 なの 10

H

でるる猫の 0, 锯 方子 三代 もいる ち回 (3 3 Fr のら 2/3 のってなっとう 多 を歌らるあり 皇太后 いちか は田の事 强 ち 修を結 名八後ろ 传花纸 なるたち 0 强 Po ス ちゆうずうゆる V3 话 1 ラち いまの とろ 奏 こちるたんと 21 33 国行うが 多多了 ナ え きちの

日の多家

ら以皇太后

皇

大

后

0

11

顺

るめか

Ser.

337

3

るませ

るり

3

ちま

金田 42 多の死子 1111 記三食る家后 为修 他后ちいの ふける 多りてな 11 のぬきるろ Proson 级 いろ 医房でれた 0 かろの 11 そいいい 2 そろ 獨多 09 古 犯 17 多 きろう な 0 5,1 かり 30 地 友 いちっくる 3 03 ちめ 0 記多 のける VD 3500 かん 我

るぬのすざちる

をするけなかをなっるの

多気報らほれ

いたいるの

をない

3

讨

くろか

るろうと

后

mz

雪をた

以後

多多

多

3 "

同

ら多

穷

いろっとち

くち記さなうはちゅうた

后

Sell Mar

COS

三

もならうてるるともあんち

みんのある らろてある ンン もり ちかの気報三年 八猪和の

東宮とは幼稚ろうとか 墨の写今を焼きら らぞる子花五修下 うちはゆるろいにきるよろまの納氏ときい既了死我と五年 すけきいかのは見 あっつろう なりとはますいナースもうて とのゆうけんなきいちくうちょうくろ らてたちを除する うるるの くるぞひ世への 杨政忠仁公 そて多記元年改佐回い ひつれぞれるあるる 多す るるを記め さらうのうなぞ

撰のはハヌ既スた位を作ううれる 竹色をいてあらって アて定めてす みまうち るでつれるうちのあり 9 名不多多品人 はようないする女郎 后の持ち なっちろ とうちれ 名のきく ろれて (F) 路 のせずると



名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫 「伊勢物語古意」四 10062220 34/34